





●盛土完了全景 令和7年9月18日撮影



●河川工区現場全景 令和8年2月20日撮影

帯広広尾自動車道 大樹町 歴舟改良工事



●セメント改良施工状況



●路体盛土施工状況



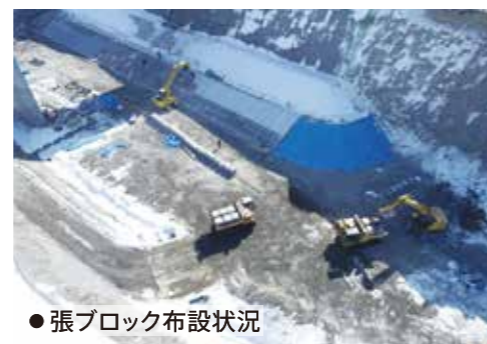
●重機の後方警戒AI



●仮水路掘削



●法留ブロック布設状況



●張ブロック布設状況

● 施工場所：広尾郡大樹町

● 発注者：北海道開発局 帯広開発建設部

● 施工業者：萩原建設工業株式会社

● 施工期間：令和7年4月1日～令和8年3月30日

● 進捗率：90.0%(2月末現在)

土木

本工事は、帯広広尾自動車道の大樹町歴舟地区で、工事延長L=640mの区間において夏期に盛土工を、冬期(渇水期)に歴舟川橋の護岸工を施工する工事です。全期間において、重機に取り付けたカメラ映像を使用して重機の後方・側方の死角に入るものを画像解析AIにより検知し、パトランプによる光とサイレンの音により警告を与えるシステム『重機の後方警戒AI』を使用し安全作業で施工を進めています。また『ICT施工stage II』を2件活用し生産性向上を図っています。盛土工事は9月下旬に完了。11月から護岸工事を開始し、季節外れの増水による施工方法の変更などがありました。現在まで事故なく無事に工事を進めています。3月は雪解け・降雨による増水の可能性があるため、水位計や気象情報をもとに安全管理を徹底し、安全第一で工事完成を目指してまいります。

現場代理人・監理技術者：奥村 祐介
担当技術者：秋葉 裕典、柴田 京辰、朝倉 聖也、塩谷 新太



●外観

学校給食センター改築工事(建築主体工事)



●調理室



●洗浄室



●配膳室



●事務室

● 施工場所：河西郡更別村字更別南1線101番地

● 発注者：更別村

● 設計監理：株式会社サン設計事務所

● 施工業者：萩原・川田・山内経常建設共同企業体

● 施工期間：令和7年6月3日～令和8年2月27日

● 進捗率：100%



本工事は、更別中央中学校隣接の給食センター老朽化に伴い、更別小学校の敷地内に新たな給食センターを建設する工事です。本施設は、村内の小中学校および幼稚園へ給食を提供・配送する拠点として重要な役割を担います。施設内部は、衛生管理や手入れのしやすさを考慮し、凹凸を抑えたフラットな形状とするとともに、白を基調とした清潔感のある仕上げとしました。外観も既存校舎との調和を大切に、学校施設全体として統一感のある落ち着いた色合いでまとめています。施工にあたっては、授業や学校行事を最優先に考え、学校関係者と工程調整を行い、騒音・振動対策や安全管理を徹底しました。無事故・無災害で竣工できましたのは、施主様をはじめ関係者各位および地域の皆様のご理解とご協力のおかげです。ここに心より感謝申し上げます。

現場代理人：伊藤 雅史 / 監理技術者：矢野 一清

建築



当社ではこのたび、北海道警察サイバーセキュリティ対策本部より講師をお招きし、グループ企業を含む社員を対象に社内セキュリティ研修(サイバー講話)を実施しました。

近年、企業を狙ったサイバー攻撃は増加しており、被害の6~7割は中小企業で発生していると言われています。研修では、実際の攻撃手口や被害事例の紹介に加え、「社長を装ったメールを遮断するツールをダウンロードさせる」などの最新の手口についても解説いただき、日常業務の中でできる対策や一人ひとりの意識の重要性を学びました。

今後も安全な業務環境づくりに取り組んでまいります。

未来につながる仕事をテーマに動画を作成、コンテスト入賞 「見えないところで、日々をつないでいく。」

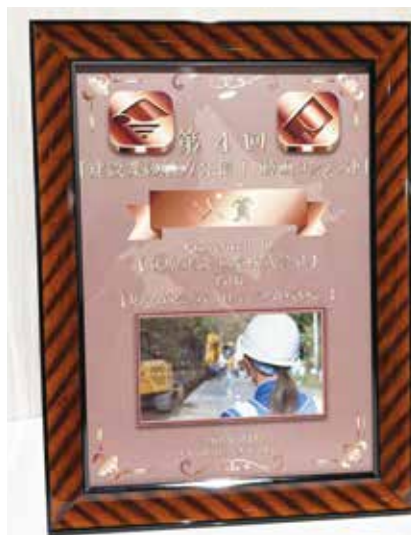
国土交通省北海道開発局と北海道建青会が主催する「建設業の魅力発信!動画コンテスト」に昨年応募し、当社の作品が「入賞」しました。

今回の作品では「ものをつくること」だけでなく、その先にある“未来につながる仕事”としての建設業の魅力を感じてもらうことをテーマに制作しました。

また、建設業の仕事には、道路や橋、建物などの工事だけでなく、完成後は「目に触れることのない」工事もあります。そうした工事も私たちの日常に密接につながっていることを知っていただけたら…という想いも込めています。

撮影当日は、季節の変わり目で、風が強く寒さを感じる時間帯もありました。その中、まばたきを我慢してもらったり、上着を羽織らずに撮影してもらったりと、無理をお願いする場面もありましたが、出演の皆さんには快く協力していただきました。

撮影では地域の方にもご協力いただき「丁寧な対応をしてくれるので、イメージが変わりました」といった声もいただきました。撮影を通じて、建設業へのイメージや現場の方の日頃の姿勢を知れたことも、貴重で嬉しい経験になりました。



多くの方に作品をご覧いただき、建設業の魅力を伝える作品として、評価いただけたことを嬉しく思います。出演や撮影に協力してくれた現場の方、地域の皆さまをはじめ、多くの方のご協力によって完成した一本です。ぜひご覧いただくと嬉しいです。

▶ 当社の作品を含む、応募作品はQRコードから視聴できます。



 **今月の表紙**
撮影: 営業部 仁藤 正憲

今月の表紙は、中札内村の花六花公園の桜並木です。花六花公園は2000年に六花亭様から寄贈された約1000本の蝦夷山桜が植樹された公園で、十勝の春を彩る名所の一つです。以前はゴールデンウィーク後半から5月上旬頃の開花という印象がありましたが、近年は全国的に桜の開花が早まる傾向にあります。写真は4月29日の撮影ですが、見事な咲きぶりでした。今年の帯広市内の開花予想は現在4月28日とのこと。少し早まる春の訪れを楽しみにしながら、桜の便りを見守りたいものです。

